

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名	海川敏雄	会員番号	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 99
分水嶺区分	298m地点～奥沢・白石分岐～294m地点(H191の南1km)		(3)山行日	2004年	10月	29日	(4)天候 晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

横内泰美	10687						
海川敏雄	10981						
計		2名		計			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略	上八雲町のセイウベツ橋を渡り右折、山道を北進し奥沢・白石方面への分岐点へ。分岐点を中心に分水嶺上を踏査。												
アプローチ	函館～R5～八雲町～R40～上八雲町の山道から奥沢・白石の分岐へ。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点	奥沢・白石分岐	八束	140	7	3.1	42	20	38.1	305				
	298m地点	八束	140	6	18.8	42	20	31.4	294	14:05	14:10	A-1	8・9
	奥沢・白石分岐	八束	140	7	3.1	42	20	38.1	305	14:45	14:46	A-1	8・9
	308m地点	八束	140	7	8.6	42	20	37.4	308	15:00	15:05	A-1	9
H191の南1km	294m地点	ルコツ岳	140	7	29.7	42	20	34.9	294	15:35	15:40	A-1	9
分水嶺離別点	奥沢・白石分岐	八束	140	7	3.1	42	20	38.1	305	16:10	16:10	A-1	8・9
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):												2時間20分	
分水嶺距離												約2km	
歩行距離												約4km	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

「奥富線、管理者今金町」と表記された標識が立っている。

(9)水および植生に関連した特記事項

タケカンバ、トドマツの混合林で、下には笹が茂っている。

(10)その他の特記事項

冬季山行の下見を兼ねて入山した。分水嶺地点まで車で入り、分水嶺上の山道をゆっくりと歩いた。この辺り(上八雲)の山道は複雑に入り組んでいて、距離もあり、車を使えない冬季間の踏査は難儀することが予想される。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: